

福井大学医学部講義棟改修計画検討書

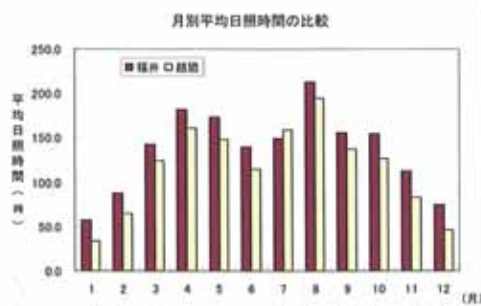
目次

1. 全体計画(空間テーマ・色彩計画・ゾーニング)
2. 平面計画図
3. デザインの検討
 - ①コミュニティースペース
 - ②合併講義室
 - ③小会議室
 - ④エントランス・大庇
4. 模型写真
5. 透視図、外観・内観

■全体計画 1

【はじめに】

医学部で**生命の**厳しさを体験し、膨大な医学の知識を得ていく中で、心を落ち着けて勉強できる空間を提案します。
 また一年を通して日照が少ない、積雪が多いという福井の気候を考慮し、光や温かみを感じられる空間作りを行います。



都道府県庁所在地の日照時間 (1981~2010年平均)

日照時間の多い5つの都道府県		
1	山梨県	2,183.0時間
2	高知県	2,154.2時間
3	宮崎県	2,116.1時間
4	群馬県	2,110.9時間
5	静岡県	2,099.0時間
日照時間の少ない5つの都道府県		
43	福井県	1,619.4時間
44	山形県	1,613.3時間
45	富山県	1,612.1時間
46	青森県	1,602.7時間
47	秋田県	1,526.0時間

出典: 気象庁

【空間テーマ】

上記内容を考慮し、光、色彩、素材感を大切に空間を提案します。
「木漏れ日、光の陰影」をテーマとした空間を構成します。



木漏れ日のイメージ



間接照明を使用して光の演出を行います。



木の素材感

【色彩計画】

「床」

暖色系のグレー（ベージュ）色を基調として、各ゾーンの個性を明確にします。
 人の動きがあるコミュニティーゾーンについては一番明度を高くし、落ち着いて勉強に励む講義室や実験室等は明度を低くして、落ち着いた空間とします。



「壁」

空間が明るくなるよう白色を基調とし、自然素材の明るい木や暖かみを持たせるよう橙色を使用します。



「天井」

空間が明るくなるよう白色を基調とします。



※白色

白の中でも暖かみのある胡粉色のような白を採用します。

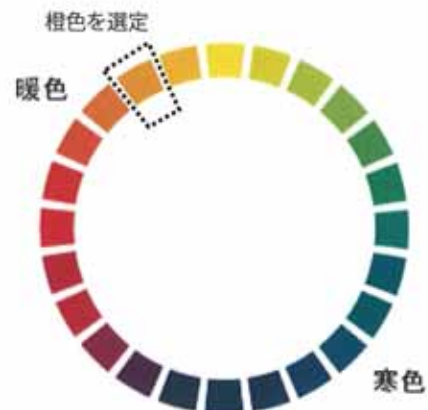
※橙色

福井県の花である可憐な水仙の鮮やかな黄色系の色調をベースに、色の中でも暖かく感じさせる色として橙色を選定します。

日照が少ない部屋にも暖かみを持たせます。



福井県の花 水仙
 鮮やかな黄色系と白色のコントラスト



マンセル色見標

■全体計画2

【ゾーニング】

コミュニティーゾーン、コネクトゾーン、スタディゾーンの3つにゾーニングし、色のグラデーション・光の工夫を施し、視覚的にアクティブゾーンに誘導します。



コミュニティーゾーンのイメージ



コネクトゾーンのイメージ



スタディゾーンのイメージ

「コミュニティーゾーン」

学生や講師が勉強、打合せ等に使用出来るアクティブな空間作りとします。移動可能な家具やパーティションにより多様な使い方を実現します。

「コネクトゾーン」

ただの廊下スペースでなく、壁面の意匠を変化させることで、各所に掲示板と椅子を設け人との交流が出来るスペースを設けます。講義室や研究室の前等、様々な場所で人の繋がりを誘発します。

「スタディゾーン」

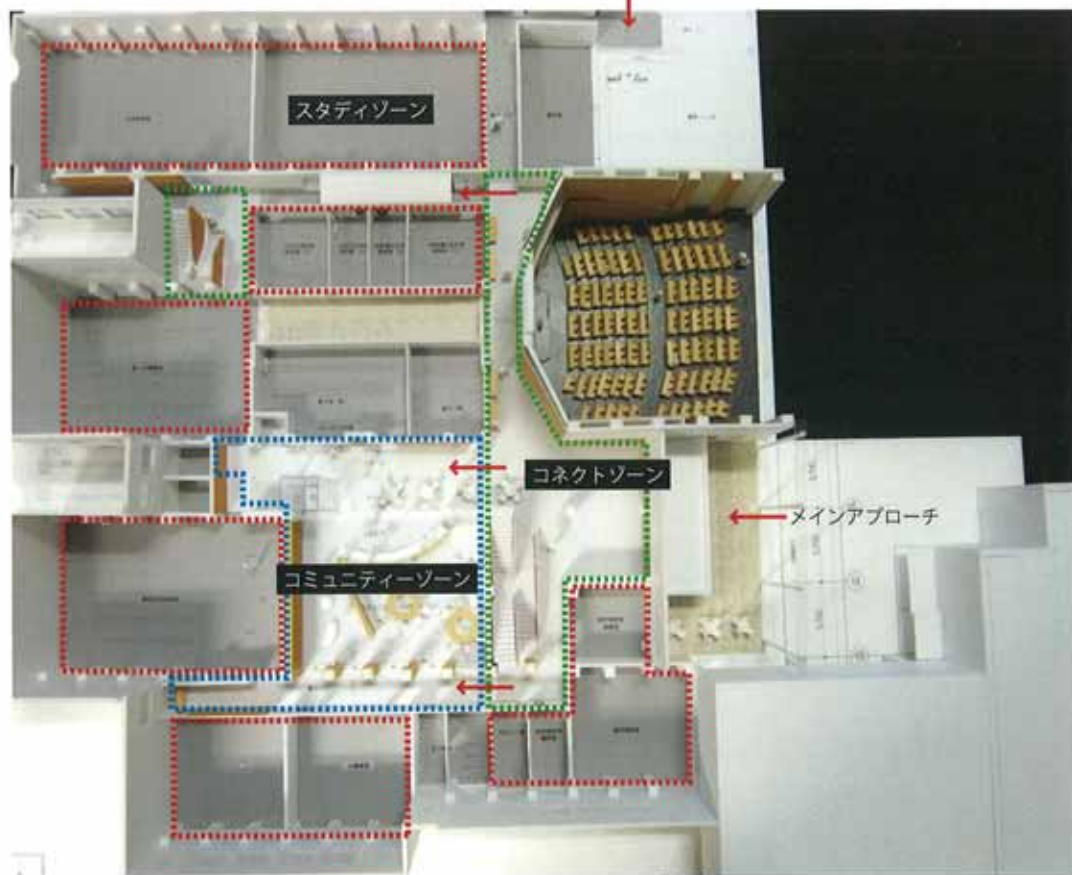
落ち着いて勉強に取り組めるよう、外部側以外は窓を設けないようにします。空間の明るさに対してLEDにより照度を確保します。

グレー1

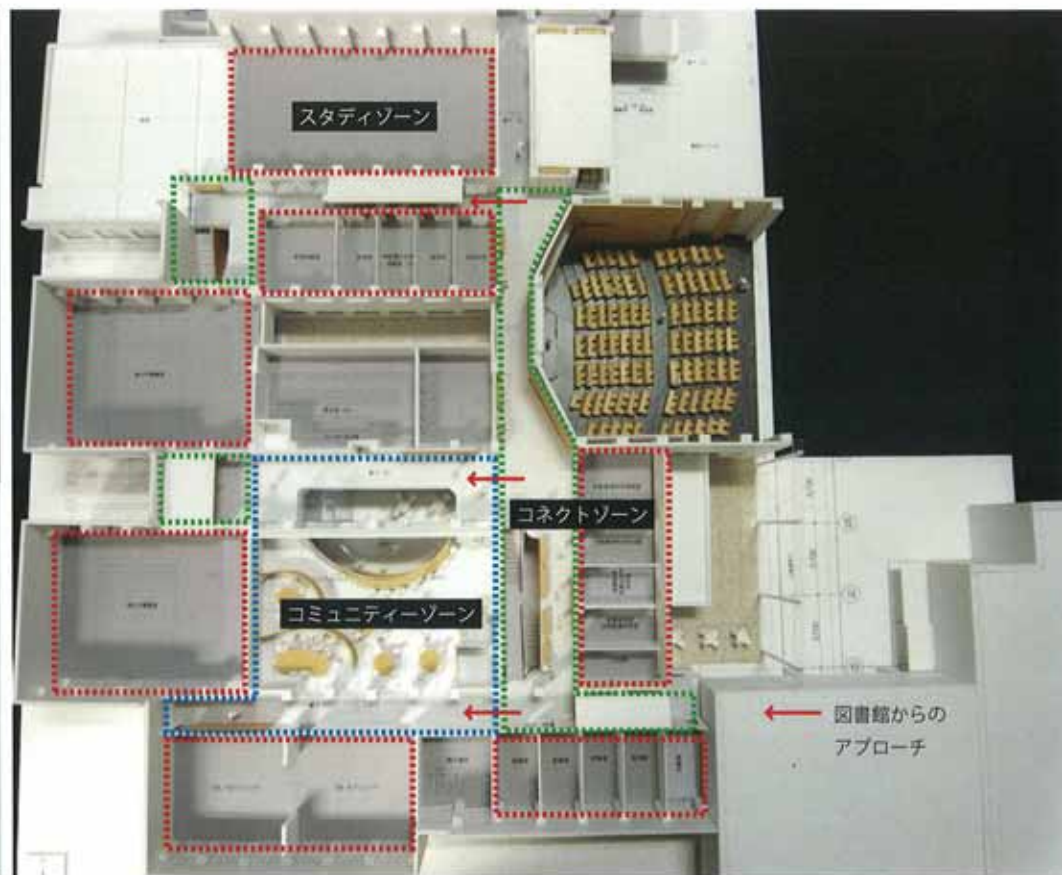
グレー2

グレー3

色のグラデーション



1Fプラン



2Fプラン

2F

- 講義・実習スペース
- 研究スペース
- 共用スペース



- 21. 第2中講義室
- 22. 第3中講義室
- 23. 第2小講義室
- 24. 第3小講義室
- 25. マルチラーニングスペース
- 26. 物理学実習室
- 27. 物理学教員実験室
- 28. 物理学教授室
- 29. 物理学助教授室
- 30. 更衣室(女)
- 31. 行動基礎科学実験室
- 32. 行動基礎科学研究室
- 33. 医療倫理医療安全学研究室
- 34. 教養事務室
- 35. 医用統計学数学研究室
- 36. 応用言語学研究室
- 37. 医療人文学研究室
- 38. 女子トイレ
- 39. 男子トイレ
- 40. エレベーター
- 41. 会議室

注) 21, 22はH21, H22年度に改修済み

1F

- 講義・実習スペース
- 研究スペース
- 共用スペース



- 1. 合併講義室
- 2. 第1中講義室
- 3. 情報処理演習室
- 4. エククリニック
- 5. 第1小講義室
- 6. コミュニケーションスペース
- 7. 更衣室(男)
- 8. 病態遺伝生化学実験室1
- 9. 病態遺伝生化学実験室2
- 10. 分子生命化学研究室1
- 11. 分子生命化学研究室2
- 12. 病態遺伝生化学実習室
- 13. 分子生命化学実習室
- 14. 医学教育支援センター
- 15. 医学教育支援センター教員室
- 16. 語学センター
- 17. 女子トイレ
- 18. 男子トイレ
- 19. エレベーター
- 20. 基礎実習棟
- 21. 電気室

1階 床面積 2,717.6㎡
 2階 床面積 2,027.1㎡
 合計 床面積 4,744.7㎡
 うち今回改修面積 4,322.9㎡

■デザインの検討1-コミュニティスペース

【コミュニケーションスペースについて】

コミュニケーションスペースはアクティブラーニングを目指す福井大学医学部講義棟のメインの空間になります。研究、ディスカッション、プレゼンテーション、国際ラウンジ、憩いの団楽など、学生の能動的な活動が積極的に行われるような空間作りを行います。

【1F コミュニティスペース】

- ・1F コミュニティスペースは主に、学生のための憩いのスペースとして提供します。
- ・上下階を吹き抜けを介して一体的な空間とし、明るく開放的な空間を実現します。
- ・空間の質に応じて、大きく3つのゾーンに分割します。



＜福井大学が目指すアクティブラーニング＞



アクティブラーニングのイメージ写真



スタディゾーンでは、様々な空間利用を想定しフレキシビリティの高い家具を提案します。



様々な家具配置に適したデスクの例

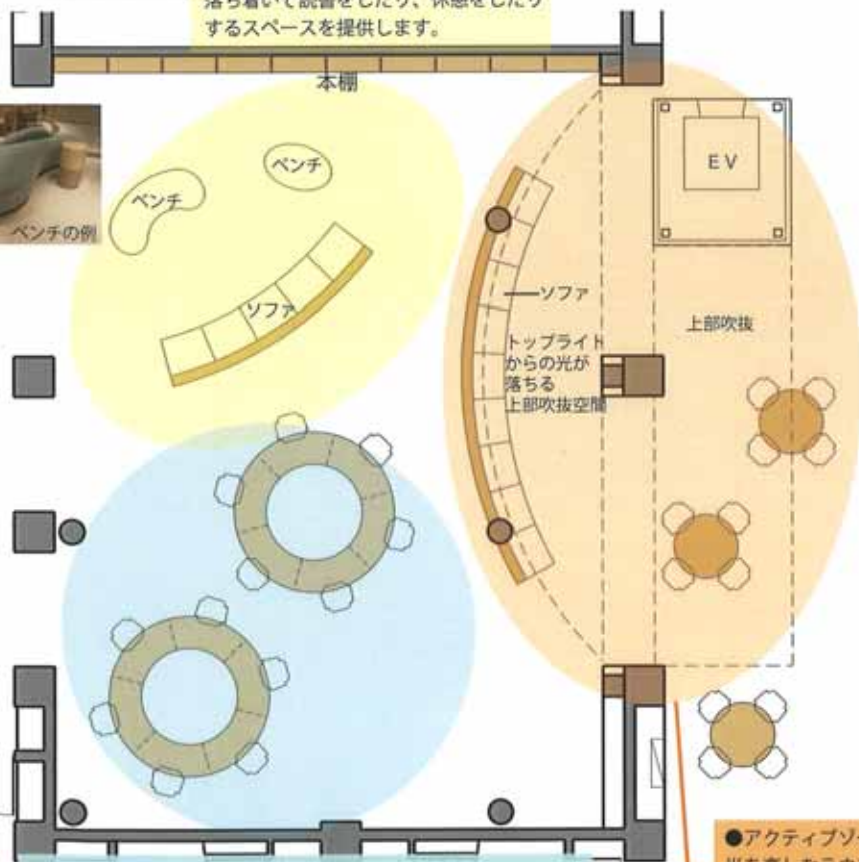


丸テーブルの例

1階ゾーニング図

●ラウンジ・ライブラリーゾーン

落ち着いて読書をしたり、休憩をしたりするスペースを提供します。



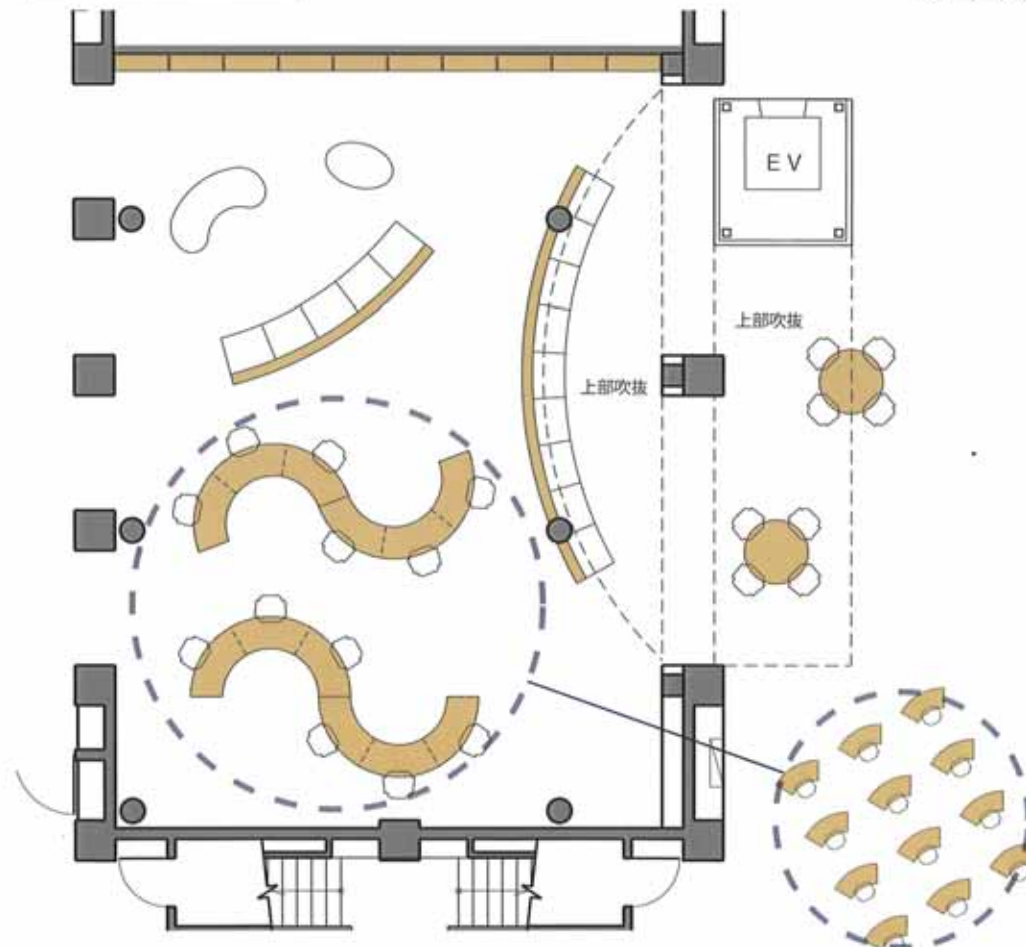
●ワーキングゾーン

期末時のグループワークの発表やプレゼンテーション会場として、また通常時は静かに落ち着いて勉強ができるゾーンを提供します。グループワーク（会議）、プレゼンテーション、個人の勉強など、多様な利用が可能な可変性のある空間を提案します。

●アクティブゾーン

光を楽しむラウンジ空間です。学生が気軽に立ち寄り、会話が弾む空間を提供します。ラウンジソファから上を見上げると、柔らかい光を楽しめます。

家具配置オプション

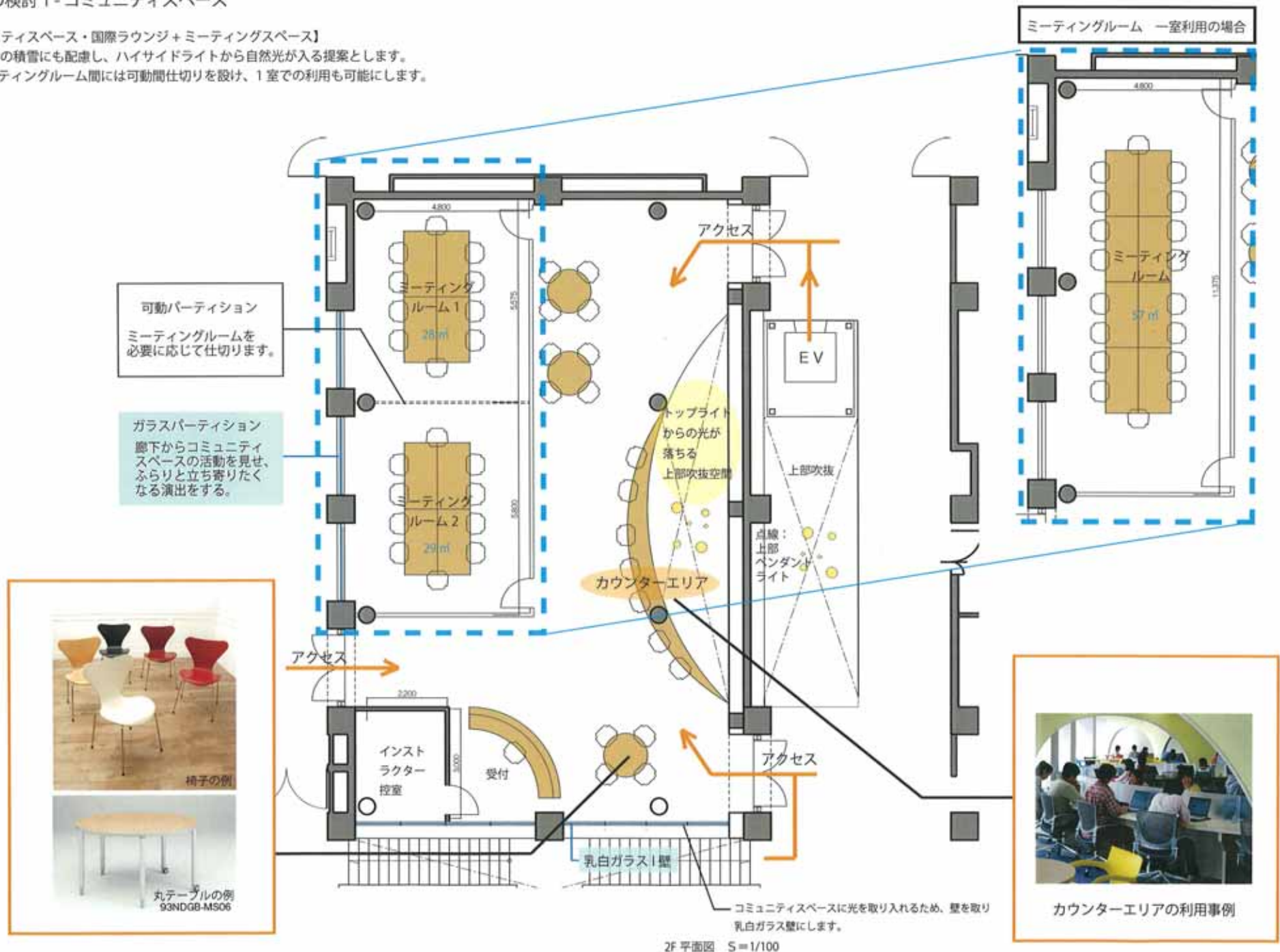


自主学習に適したプライベートデスクの配置例

■デザインの検討1-コミュニティスペース

【2F コミュニティスペース・国際ラウンジ+ミーティングスペース】

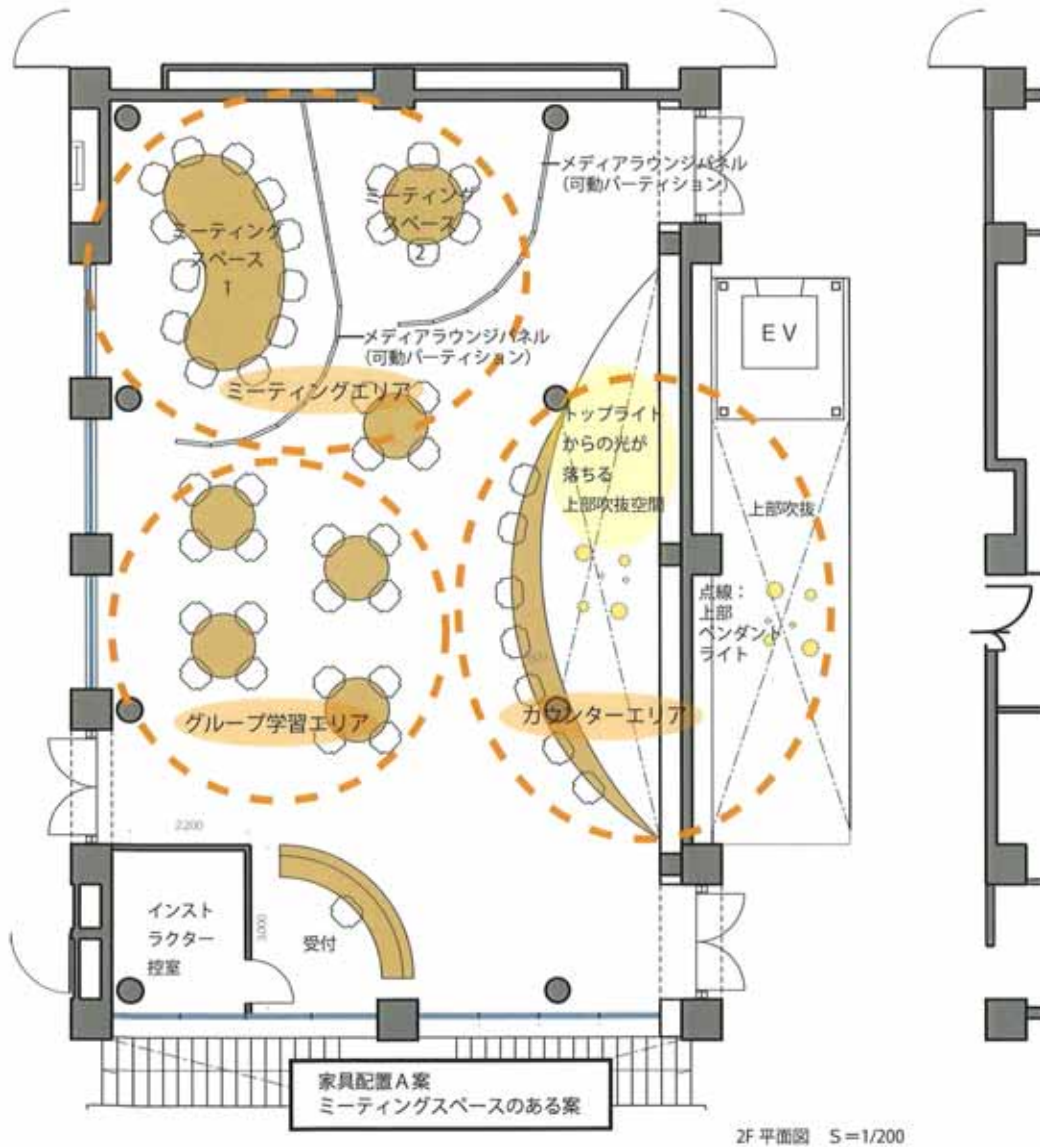
- ・屋根は福井の積雪にも配慮し、ハイサイドライトから自然光が入る提案とします。
- ・2室のミーティングルーム間には可動間仕切りを設け、1室での利用も可能にします。



■デザインの検討1-コミュニティスペース

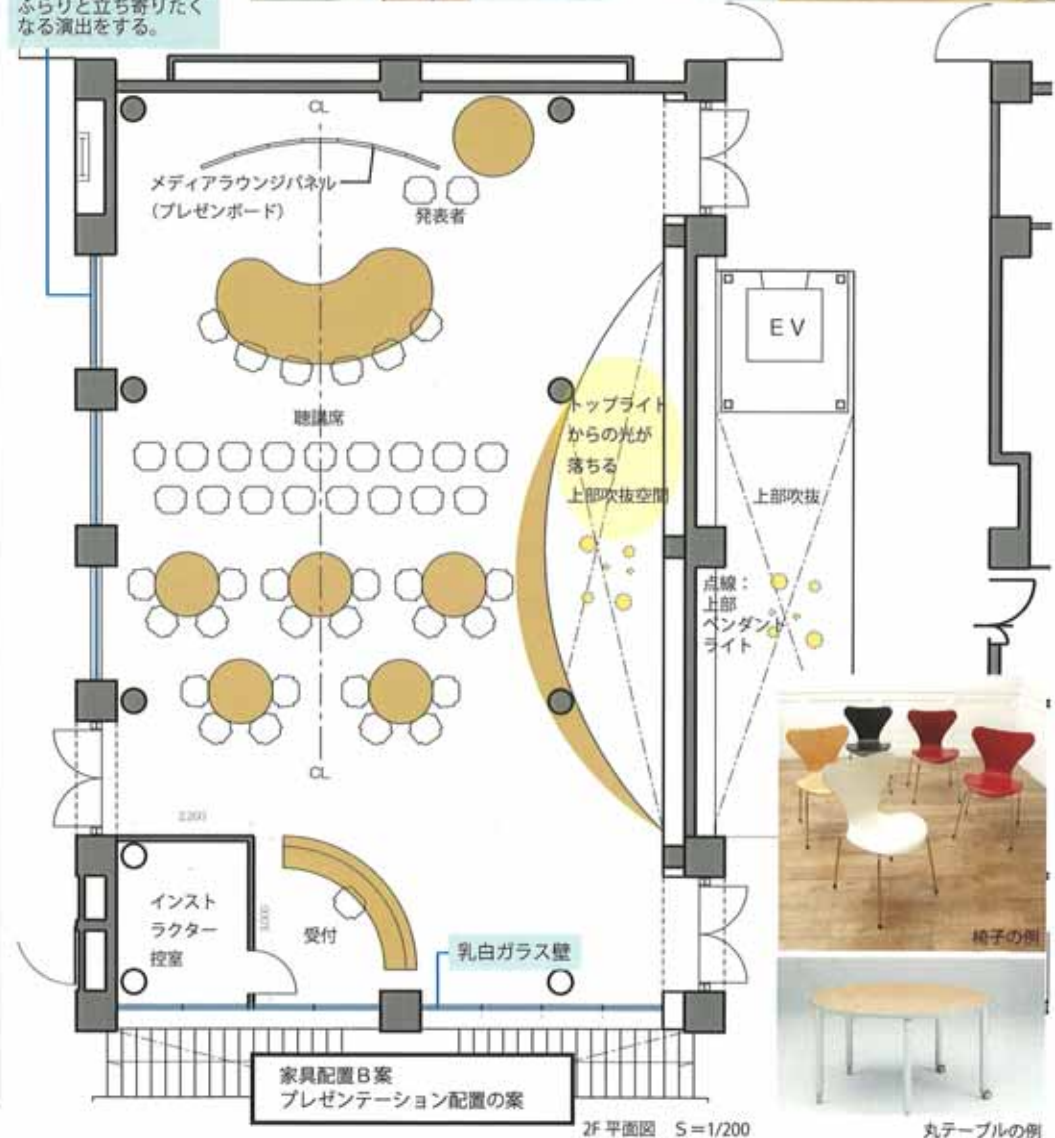
【2F コミュニティスペース・国際ラウンジ+ミーティングスペース】

- ・屋根は福井の積雪にも配慮し、ハイサイドライトから自然光が入る提案とします。
- ・2室のミーティングルームと国際ラウンジはメディアラウンジパネルで仕切ります。
- ・メディアラウンジパネルは簡単に撤去することができ、国際ラウンジと一体的な空間を作ることが可能です。(例えば、期末時のプレゼンテーション会場、卒業時のパーティ会場など)
- ・メディアラウンジパネルは、プレゼンボードの掲示ボードとしても使うことが可能です。



ガラスパーティション
廊下からコミュニティスペースの活動を見せ、ふらりと立ち寄りたくなる演出をする。

メディアラウンジパネルの例



■デザインの検討1-コミュニティスペース

ハイサイドライトを、屋根北側の位置に南向きで設けます。南向きにすることで、できるだけ多くの光を取り入れることができますとともに、冬季の北西からの吹き込みみに配慮することができます。また屋根北側に設置し間接的に光を取り入れることで、強い光を柔らかく豊かな表情の光りに変えます。

南向き

北向き

自然採光、換気

冬季の北西からの風を壁がブロック

OAフロア
パソコンの電源やLANなど、各所から供給できるOAフロアにします。

1F床暖房
寒い冬場でも快適に過ごせる環境を実現します。

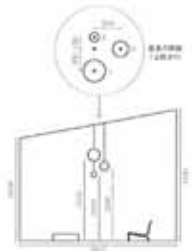
1Fコミュニケーションブックシェルフ
自分たちで集めた書籍や、学生同士の活動報告資料などを並べる書棚を壁面に設けます。



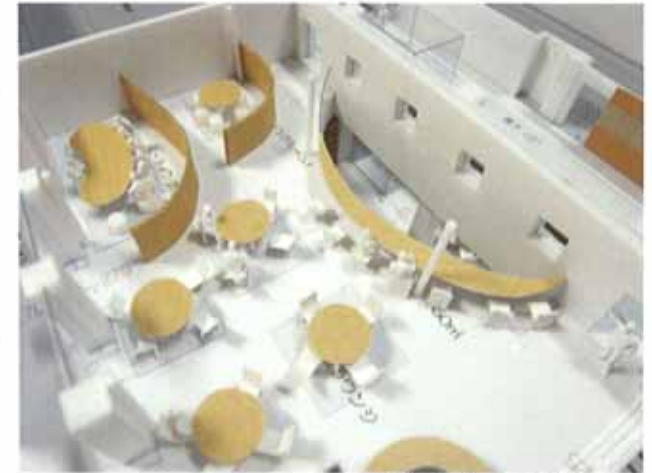
ハイサイドライトの例：
ストックホルム市立美術館



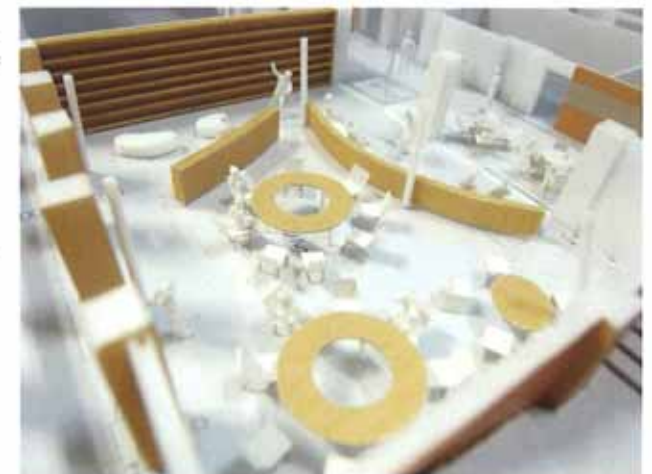
複数のあかりで、吹き抜け空間にリズム感や中心感をつくる。
天井の照明は、吹き抜け空間にリズム感や中心感をつくる。天井の照明は、吹き抜け空間にリズム感や中心感をつくる。



ペンダント照明の例



2Fコミュニティスペース



1Fコミュニティスペース

断面図 S=1/100

■デザインの検討 2- 合併講義室

【合併講義室】

この空間は様々なジャンルの授業やイベントで使用されることを想定しています。各種用途が重なり合うイメージと、全体のテーマでもある重なり合う葉からの木漏れ日のように、天井に変化を付けることで躍動感を出しています。壁面は木立をイメージして木調とし、全体として木々に囲まれたような空間コンセプトとしています。



木調の壁と天井に動きを付けた合併講義室（模型写真）



X14

X15

X16

X17

X18

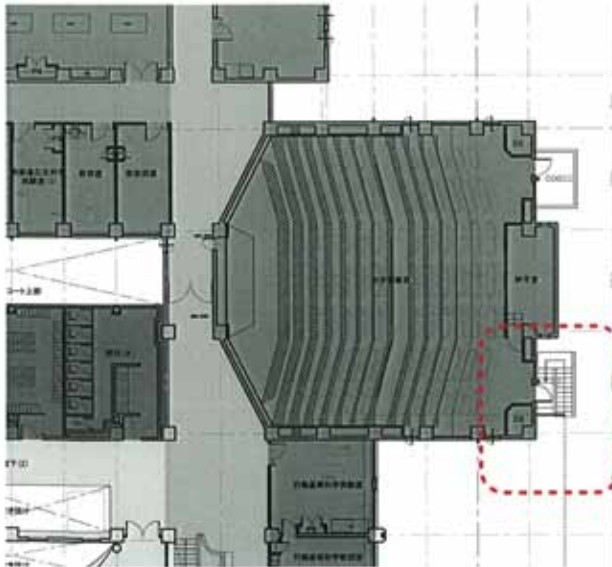
X19

X20



天井イメージ

断面図 S=1/100

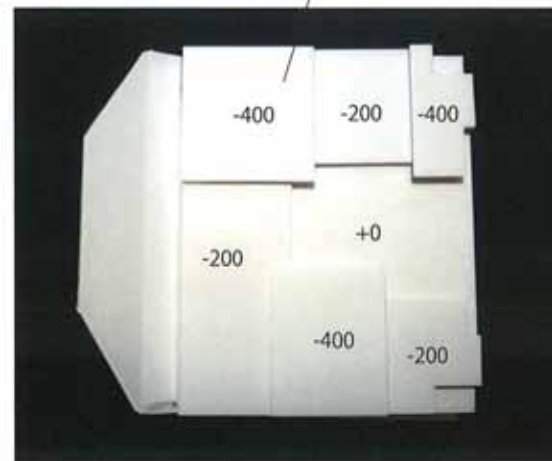


木調で統一した講義室の固定机・椅子

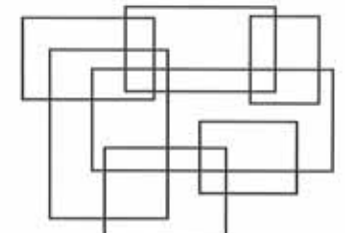
新設する階段ボリューム

コンクリートを増打ちして、座席の間隔を広くします。

平面図 S=1/300



木漏れ日をイメージした天井の形態（模型写真）



木漏れ日、葉の重なりダイアグラム



木漏れ日、葉の重なりイメージ

■デザインの検討5-サインボード・廊下

【サインボード・廊下】

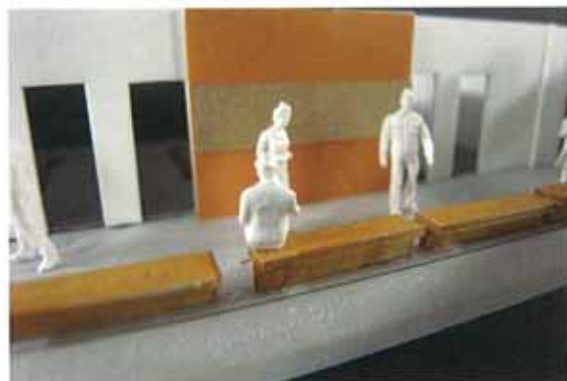
橙色の壁面の箇所に金属パネルによるサインボードを設置します。

A1縦サイズに合わせて高さ方向を設定し、乱雑とならないよう配慮します。

また時間制等、大学の掲示物が貼っていない時も見栄えの良い綺麗な金属パネルとすることで、意匠的にも配慮します。

設置は学生や講師の目に留まりやすい場所を選定しています。

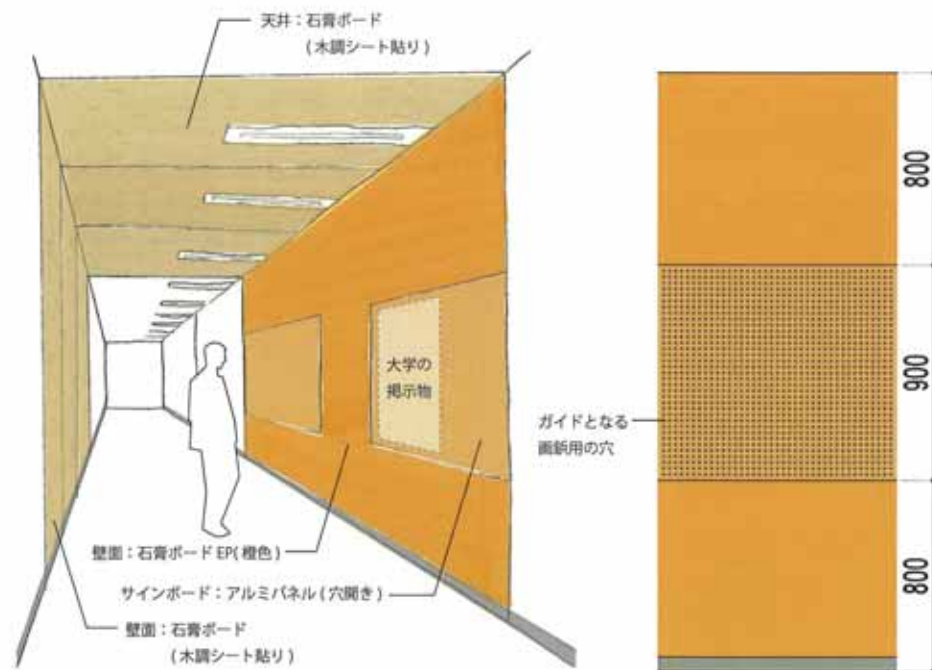
橙色とすることで視認性を高めています。



学生や講師の交流の場となるサインボードスペース



学生や講師の動きに合わせたサインスペースにより賑わいを演出します。



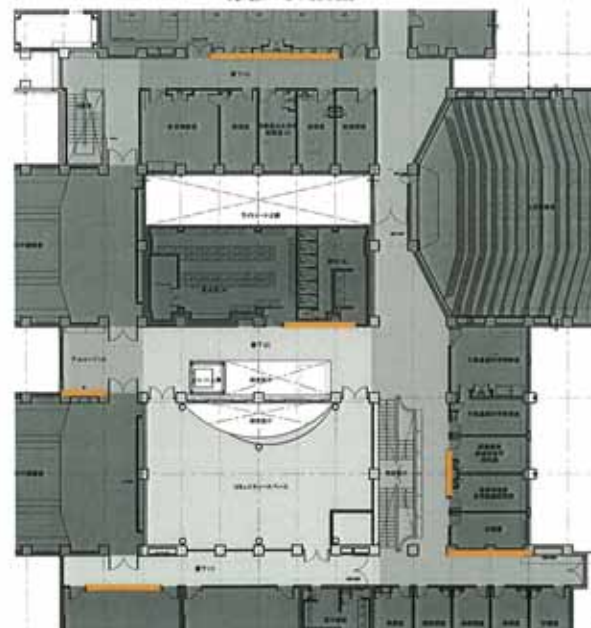
サインボード展開図

主にコネクトゾーンにあるサインスペースを明確にした計画



1F平面図 S=1/400

サインボードはコミュニケーションルーム、研究室、講義室の前等、人の目に留まりやすく人の交流を増やしたい場所に設置します。



2F平面図 S=1/400



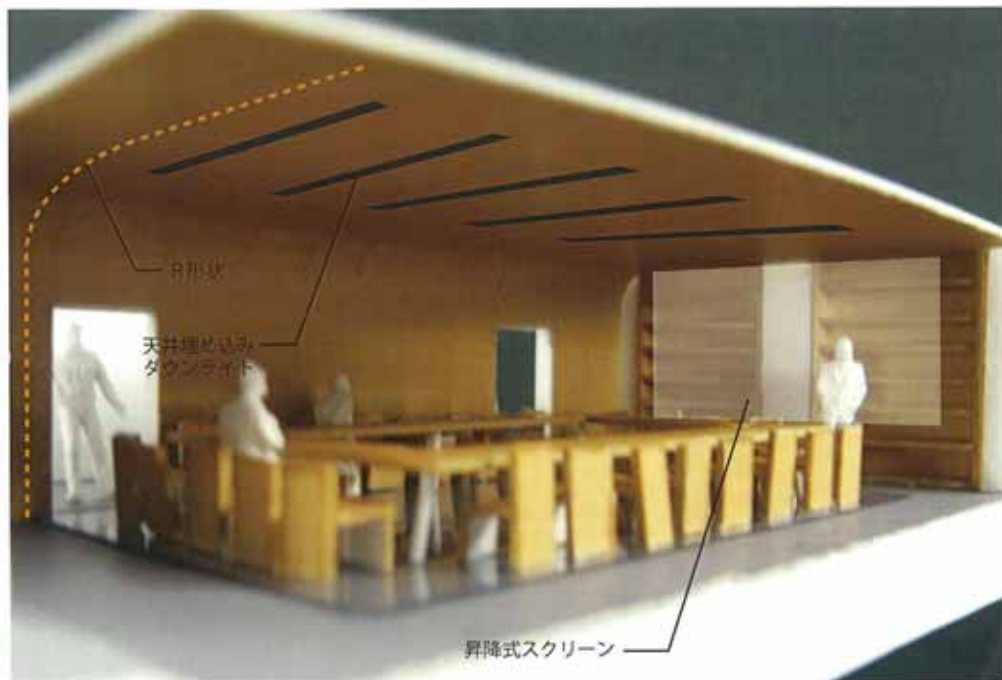
サインボード事例

サインボード壁面

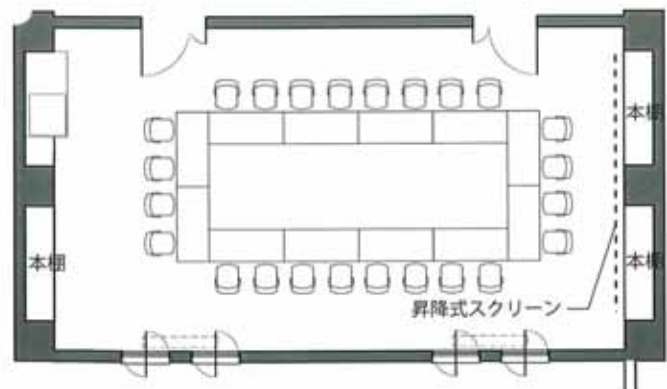
■デザインの検討3-小会議室・階段

【小会議室】

コネクトゾーンで採用している木調に囲まれた空間と同様にし、壁面と天井を一連に繋げることで、木に包まれた空間とし、見た目にも高級感を演出します。



小会議室



小会議室平面図 S=1/100



木で囲まれた森のイメージ

【階段】

動線の中心となる階段は視認性や空間に広がりを感じられるよう膨張色である橙色を採用します。

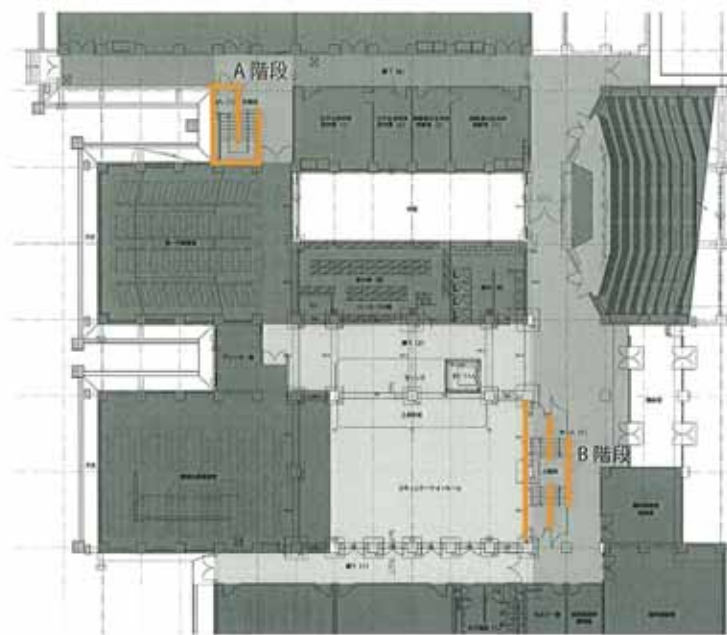
暖かみ、視認性を高めた橙色の階段壁面



A 階段



B 階段

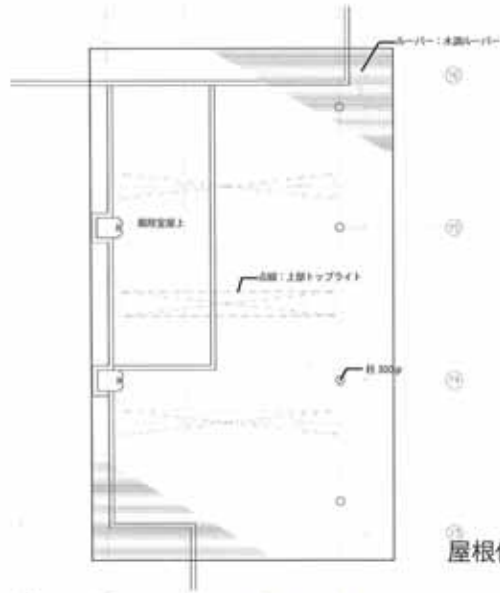


1F 平面図 S=1/300

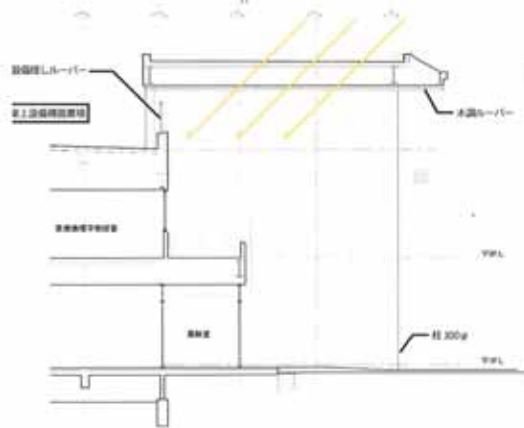
■デザインの検討 4- エントランス・大庇

大学の活動の中心的なスペースとして、軒高さのある大庇を提案します。
大庇には、トップライトが開いており、軒下のルーバー越しに光が足元に差し込み、まるで木漏れ日のような印象を与えます。

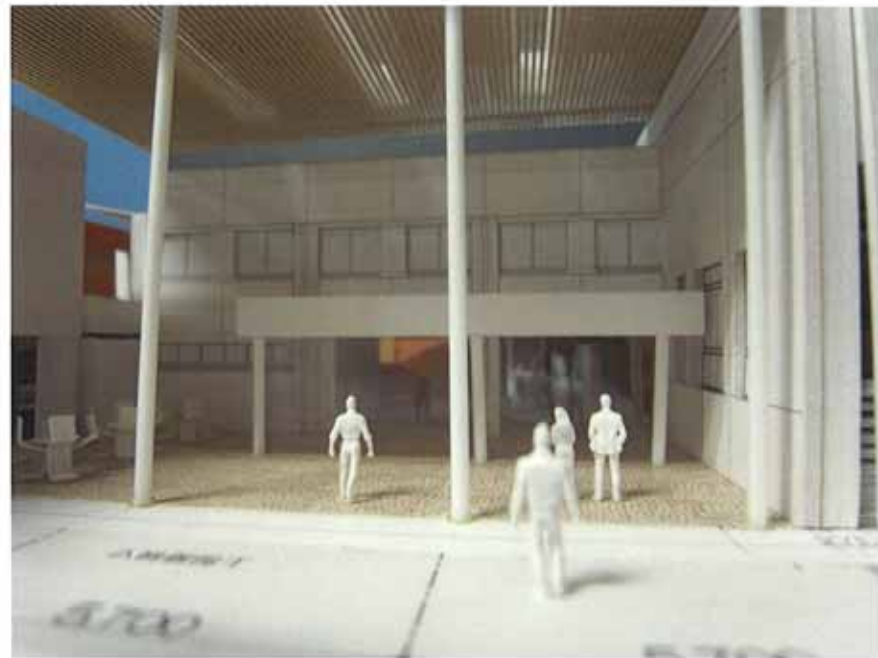
大庇の下にはテーブルやチェアを設置し、憩えるスペースを設けます。
ルーバーやトップライトは建物内部への方向性を与え、建物の中に引きこまれるような演出をします。



屋根伏図 S=1/100



断面図 S=1/100



模型写真1・・・エントランス正面



模型写真2・・・エントランス北東側から

